

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
静岡都心地区

平成24年3月

静岡県静岡市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	まち全体の活力向上	人	489,000	452,000	475,000	確定 見込み ●	○	あり なし	382,500	H21年11月	△	経済状況の急激な変化と、第2期計画の事業実施に伴う商業施設休業の影響により、地区内の通行量が減少した。 <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	過去の傾向では、再開発事業の実施効果により通行量が増加していることから、今後も新静岡センターの再整備、第2期計画における再開発事業等を引き続き実施することで、効果が現れることが想定される。
指標2	来街者の満足度アップ	%	20	40	88	確定 見込み ●	○	あり なし	40	H23年7月	○	事後評価時は事業完了前であったため簡易調査を実施したが、調査は現地での聞き取り方式であったため、評価値が高くなったと予想される。 <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	地下道整備や静岡駅北口周辺の整備による効果が現れている。
指標3	駿府城のおもかげが感じられる効果アップ	%	64	70	67	確定 見込み ●	△	あり なし ●	52	H23年7月	△	事後評価時は事業完了前であったため簡易調査を実施したが、調査は現地での聞き取り方式であったため、評価値が高くなったと予想される。 <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	従前値は、再整備実施前の調査結果であり、期待値が含まれていたと考えられる。駿府公園利用者への聞き取り調査では、約75%の評価を得ており、整備効果が現れていると言える。
指標4						確定 見込み		あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	中心商店街3時間以上滞在割合	%	37	40	確定 見込み ●			40	H21年11月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	従前値に比べると中心市街3時間以上滞在割合は上がっており、賑わい創出の効果が上がっていると評価できる。	
その他の数値指標2					確定 見込み				H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		
その他の数値指標3					確定 見込み				H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ・成果を持続させるために 行う方策 	「静岡らしい」地域資源の活用 ⇒代表的な歴史・文化拠点の再整備	・本地区の代表的な歴史、文化資源である駿府公園整備の継続実施中	・駿府公園において整備が完了した箇所については、市民の憩いの場となっている。	・駿府公園の埤欄完成に向けた、駿府公園整備事業の推進。(第2期計画において実施中)
	回遊性の向上 ⇒歩行者空間の快適性向上	・地下道及びその周辺の地上部の道路整備を実施。 ・公共サインの設置。 ・静岡駅北口駅前広場への植栽の設置。	・地下道整備により、「暗くて狭い」という印象が改善された。 ・公共サインの設置により、市街地における道のわかりやすさが向上した。	・地下道内の未整備箇所における整備推進。(第2期計画において実施中)
	賑わいの向上 ⇒商業拠点施設の形成	・市街地再開発事業及び優良建築物等整備事業により主として商業拠点施設の構築を継続している。	・市街地再開発事業及び優良建築物等再整備事業が順調に進捗している。	・市街地再開発事業及び優良建築物等整備事業の円滑な事業推進。(第2期計画において実施中)
改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策 	「静岡らしい」地域資源の活用 ⇒「静岡らしさ」の検討	・第2期計画におけるモニタリング時に、市内全域を対象としたアンケート調査にて住民の意向を確認した。	・これまで実施した「歴史・文化拠点」の整備に対しては、評価されていることを確認した。 ・静岡らしさが感じられない理由として「静岡ならではの特色ある個店が少ない」が比較的多く挙げられている。	・静岡の地域資源をPRする事業等の推進を図る必要がある。 ・商店街団体が実施している「商業エリア・個店・街の魅力づくり」に関する事業との連携および支援が必要。
	回遊性の向上 ⇒交通体系の再構築に向けた検討	・御幸町鷹匠町2号線の歩道設置社会実験を実施し、その結果として暫定的な歩道整備を行った。	・歩道の確保により歩行者の快適性が向上した。	・他路線での歩車共存及び歩行者の回遊性を目的とした社会実験の検討。
	賑わいの向上 ⇒商業以外のにぎわい拠点の形成	・静岡市美術館整備事業	・静岡市美術館はオープン以来、企画展やイベントなどを行っており好評である。	・展示・企画の工夫による、来館者数の維持及び向上。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項